

リハビリテーション部ではこんな仕事をしています

リハビリテーション部 水野 清（理学療法士）

リハビリテーションとは

リハビリテーションの語源はラテン語で、re（再び）と habilis（適した）と -ation（～にすること）からなっています。この場合の habilis とは「人間たるにふさわしい」ということであり、語源から解釈されるリハビリテーションとは、「再び人間としてふさわしい適切な状態にすること」を意味します。

医学的リハビリテーションには理学療法・作業療法・言語聴覚療法があります。当院では、入院中の患者さんや外来患者さんを対象に、各科の医師の指示のもと、脳血管障害、骨・関節疾患、内部障害（心機能障害、腎臓機能障害、呼吸機能障害など）、外科手術後の安静臥床に伴う廃用症候群（過度の安静による筋萎縮などの生理的変化）等により低下した運動機能、動作能力や日常生活動作（食事、排泄、更衣、整容など）、コミュニケーション能力の改善を目指してリハビリを行っています。

理学療法

(Physical Therapy : P T)



足首に重りを巻いて負荷をかけながら上下運動をする。整形外科手術後のリハビリを指導する理学療法士。

四肢・体幹の運動機能回復を図り、基本的動作能力（起き上がる・座る・立ち上がる・歩くなどの日常的動作）の回復及び獲得を主な目的として、症状に応じて運動療法（筋力増強運動・関節可動域運動・協調運動練習・基本動作練習など）を中心に、温熱・電気療法などを併用して行います。その他、呼吸器疾患に対する呼吸訓練も行います。

作業療法

(Occupational Therapy : OT)



カーディガンを着る練習を指導する作業療法士。

骨折や麻痺などで機能しにくくなった患側上肢の機能訓練、健側の強化（利き手交換・片手動作練習）、日常生活動作練習（食事・排泄・更衣・整容・入浴など）を中心に行います。また、脳の損傷により麻痺側の空間への無視などが出現して転倒しやすくなったり（失認症）、スプーン等の道具の使用が上手くできなくなったり（失行症）など高次脳機能障害によって日常生活の諸動作がスムーズにいかなくなることがあります。そのような障害に対してもアプローチしています。

言語聴覚療法

(Speech Therapy : ST)

脳血管障害などによって、話す・聞く・書く・読むなどの言葉の機能が障害されたり（失語症）、呂律がまわらなくなったり（構音障害）します。このように障害されたコミュニケーション能力の最大限の回復を援助します。

また、食べるときに使う口腔器官（口唇、舌、顎、軟口蓋、咽頭など）の筋肉の運動や感覚の障害により食べ物がうまく食べられない状態（嚥下障害）に対しても摂食機能訓練を行っています。



文章を読んで理解したり、記憶にとどめる訓練をする言語聴覚士

文章を読んで理解したり、記憶にとどめる訓練をする言語聴覚士